

第46回 供用期間中検査検討会 議事録

1. 開催日時: 平成26年4月10日(木) 13:30~16:45
2. 開催場所: 日本電気協会D会議室
3. 参加者 : (順不同, 敬称略)
 - 出席者: 笹原主査(NDIリサーチ), 小島副主査(東京電力), 瀬良副主査(関西電力), 相山(日本非破壊検査協会), 浦邊(日本原電), 江原(日立GE), 大岡(ものづくり大学), 小船井(非破壊検査), 米谷(日立GE), 佐藤(発電技検), 柴山(三菱重工), 東海林(電中研), 杉江(原子力推進安全協会), 関(三菱重工), 田中(GE 日立), 西川(中部電力), 新田(富士電機), 濱野(IHI), 松本(原子力エンジニアリング), 三橋(東芝), 吉田(東京電力)

(計21名)
 - 代理出席者: 村田(北海道電力・青柳代理), 座主(北陸電力・石濱代理)

(計2名)
 - 欠席者: 土屋(東北電力), 中川(中国電力), 柘(電源開発), 松本(九州電力), 小林(発電技検)

(計5名)
 - 常時参加者: 隠岐(関西電力), 南(発電技検)

(計2名)
 - 事務局: 富澤(日本電気協会)

(計1名)

4. 配付資料

- 資料 46-1 委員名簿
- 資料 46-2 第45回供用期間中検査検討会 議事録(案)
- 資料 46-3 JEAC4207-201X 年版改訂作業工程表
- 資料 46-4 JEAC4207-201X に向けての検討課題一覧(本文, 全般, 附属書)
- 資料 46-5 JEAC4207-201X に向けての検討課題一覧(新規追加)
- 資料 46-6 JEAC4207-20XX 新技術関連の検討項目について 改定案(No7)
- 資料 46-7 JEAC4207-20XX 本文, 解説(1章)の変更提案
- 資料 46-8 JEAC4207-20XX 本文, 解説(2章)の変更提案
- 資料 46-9 軽水型原子力発電所用機器の供用期間中検査における超音波探傷試験検出訓練指針概要

【参考資料 第50回 原子力規格委員会 配布資料(抜粋)】

- 参考資料-1 平成25年度活動実績及び平成26年度活動計画(案)
- 参考資料-2 分科会委員構成の中立性, 透明性について
- 参考資料-3 第1回 日本電気協会原子力規格委員会 シンポジウム(案)
- 参考資料-4 【平成25年度】原子力規格委員会 功労賞 選考一覧
- 参考資料-5 「学協会規格整備計画52項目」の見直し結果(報告)

5. 議事

(1) 代理出席者の承認, 会議定足数の確認

事務局より, 本日の代理出席者2名及び常時参加者2名について主査の承認を得た。出席委員数は,

代理出席者を含めて23名で検討会決議に必要な条件(委員総数の3分の2以上の出席)を満たしていることを確認した。

(2) 前回検討会議事録(案)の承認

事務局より資料46-2に基づき、前回議事録(案)を説明し、正式議事録とすることを確認した。

(3) JEAC4207-201X年版改訂作業工程表について

委員より、資料 46-3 及び 46-4 に基づき、JEAC4207-201X 年版改訂作業工程表並びに各検討課題及び担当分担の説明が行われた。

【主な意見, コメント】

特になし

(4) JEAC4207-201X に向けての検討課題一覧(新規追加)について

委員より、資料 46-5 に基づき、JEAC4207-201X に向けての検討課題一覧(新規追加)について説明が行われた。

【主な意見, コメント】

特になし

(5) JEAC4207-20XX 新技術関連の検討項目について

委員より、資料 46-6 に基づき、新技術関連の検討項目について説明が行われた。

【主な意見, コメント】

特になし

(6) JEAC4207-20XX 本文, 解説(1章), (2章)の変更提案について

委員より、資料 46-7, 資料 46-8 に基づき、これまでの検討結果を踏まえて作成した JEAC4207-20XX 本文, 解説(1章)(2章)の変更提案について説明が行われた。

【主な意見, コメント】

・【1320 関連規格】(14)EN473については2000年版が記載されているが、ENはISOに替わり、2008年版が発行されていると思われるので確認が必要である。

→確認して最新化する。

・(解説-1320-1)関連規格の記載は、機械学会規格の記載を確認し本解説の記載の見直しが必要である。また、主語の記載がないため反映が必要ではないか。

→確認し修正案を次回に提案する。

・(解説-2120-1 表面の仕上げ)に記載の「溶接部の余盛などは…」については、余盛を削るような改造工事を実施するように誤解される可能性があるのではないか。

→誤解のないように文章を追記する方向で検討し、次回提案する。

・(解説-2200-1)に記載の試験評価員の基準については、語尾の適切化が必要ではないか。

→修正案を検討し次回に提案する。

・(解説-2340-1 対比試験片)に記載の「従来から使用している…」については、本文に規定しているため、なくても良いのではないか。

→削除する。

・(解説-2342-1 突合せ溶接継手用対比試験片の反射体)の、「日本では…の2行」について過去の反映が済んでいるため文章の適切化が必要ではないか。

→修正案を検討し次回に提案する。

・【2410超音波探傷器】に記載の法令条文(電気事業法)は古いため最新化が必要である。

→確認し修正案を次回に提案する。

・【2510 一般事項】の(3)に記載の「感度確認用シミュレータ」は、校正確認用の表現の方が適切ではないか。

→修正する。

・(解説-2520-5) 対比試験片の超音波伝搬経路上の媒質に、「など」、「等」が混在しているので整理する必要がある。

→「等」で統一記載する。

・(解説-2172-1)の『表-2171-1UT指示エコーの分類』に記載の「b ゴーストエコー」の表現は、残留(ゴースト)エコーの表現の方が適切ではないか。また、注記書きの記載がない。

→そのように修正する。また、(注記)は補足に修正する。

・【2721 クラス1機器】及び【2722 クラス2機器】に記載の「JEAC4205のA3000項」については、削除する必要があるのではないか。

→継続検討することとする。

・(解説-2800-1) 試験記録に記載の、「具体的には各事業者の品質保証システムに従うものとする」については、この規格で記録様式等を決めるように解釈されること、及び別な規格で品質保証システムを確立しているため、敢えて記載する必要はないのではないか。

→削除することとする。

(7)軽水型原子力発電所用機器の供用期間中検査における超音波探傷試験検出訓練指針概要について
委員より、資料 46-9 に基づき、超音波探傷試験検出訓練指針概要について説明が行われた。
なお、今後これをもとに検討会で検討していくこととしたい旨補足説明があった。

【主な意見、コメント】

・対象にしているのは、手動探傷は試験員のみ、自動探傷は試験評価員を対象としているのか。

→手動探傷は試験員及び試験評価員の両方を対象としている。自動探傷は自動化されているため、試験評価員を考えている。

5. 構造分科会及び原子力規格委員会の開催日について

事務局より、次回の構造分科会は6月6日に、原子力規格委員会は6月20日に開催日される旨口頭連絡した。

6. 第 50 回 原子力規格委員会 配布資料(抜粋)について

事務局より、参考資料-1~5に基づき、3月31日に開催された第 50 回 原子力規格委員会において審議された資料(抜粋)の説明を行なった。

7. その他

次回の供用期間中検査検討会は7月15日(火)に電気協会会議室(D会議室)にて開催することとした。

以上